

URが賃貸住宅以外の事業を行っているってご存じでしたか？

2023年9月、東京都北区の赤羽台に「URまちとくらしのミュージアム」がオープンしました！URは、団地・都市再生・震災復興などを通じて、新たなくらし方を探求してきました。「URまちとくらしのミュージアム」は、その探求の「過去・現在・未来」を体験しながら一望できる場所です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください！

見学のご案内

- ・開館時間 10:00～17:00
- ・休館日 水曜日・日曜日・祝日
(年末年始・臨時休館あり)
- ・入館料 無料
- ・見学方法 事前予約制※の見学ツアーのみ
10:00～／13:00～／15:00～
(各回90分程度・定員20名)

※事前予約はコチラから
<https://webket.jp/pc/ticket/index?fc=00439&ac=8001>



- ・問い合わせ先 03-3905-7550
- ・住所 東京都北区赤羽台一丁目4-50
- ・アクセス JR「赤羽」駅西口より徒歩8分



■ポイント1 ミュージアム棟

【復元住戸】

同潤会代官山アパートメントをはじめ集合住宅を復元した住戸が4地区6戸あり、実際に住戸内に入ってご覧いただけます。

【URシアター】

日本の集合住宅のはじまりから、URが取り組んできたまちづくりの変遷を、4面の大迫力スクリーンで体感いただけます。

【団地・まちづくり】

「団地」エリアでは、時代ごとの団地の変遷をたどることができます。また、「まちづくり」エリアでは、URが手掛けてきた事業を、年表やメディアウォールで一望いただけます。



空間標本箱をイメージしたミュージアム棟外観



蓮根団地(復元住戸)
日本住宅公団がはじめてつくった代表的な住宅。当時としては画期的なダイニングキッチンと2つの寝室を持つ「2DK」の間取りでした。

■ポイント2 国の登録有形文化財

旧赤羽台団地を見守ってきた住棟4棟が、2019年、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

- ・ラボ41
(板状階段室型住棟)
- ・スターハウス42・43・44
(ポイント型住棟)



■ポイント3 ワークショップひろば

ミュージアム棟前に広がる芝生のひろば。さまざまなワークショップを展開予定です。

URまちとくらしのミュージアム
公式HPはコチラ
<https://akabanemuseum.ur-net.go.jp/index.html>



～社会課題を、超えていく。～

URではさまざまな社会課題を解決すべく事業に取り組んでいます。URの各取り組みについては、公式noteで紹介しています。下記URLまたは右記二次元コードからぜひご覧ください。
<https://ur-toshikikou.gov.note.jp/>



コンセント・プラグの取扱いについて（お知らせとお願い）

たこ足配線は危険です

コンセントや電源コードは、安全に使用できる電気の量に制限があります。これを超えて使用すると電源コードが過熱し、火災の原因となることがあります。

コードの上に重いものを置くのはやめましょう

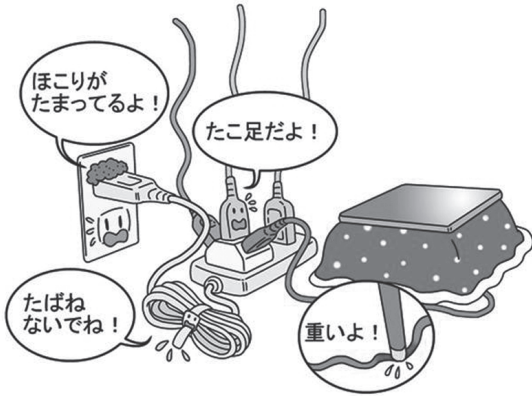
電源コードの上に棚などの重いものが置かれていて、電源コードの内部の芯線が断線し、それが原因で過熱する恐れがあり危険です。

コードを束ねて使用するのはやめましょう

電源コードは束ねずに伸ばして使用してください。束ねたままで使用すると過熱する恐れがあり危険です。

コンセント・プラグは時々点検してください

コンセントやプラグはホコリがたまりやすく、そこに湿気が吸着するとトラッキング現象の原因となることがありますので、ホコリのたまりやすい場所にある家具や電化製品の裏にあるコンセントやプラグは、時々点検して乾いた布などで清掃してください。

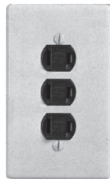


UR都市機構ではコンセントの修繕工事を実施しています。

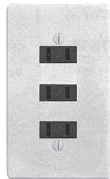
お住まいの住宅に次のコンセントがありましたら、管理サービス事務所もしくはお住まいの団地を管轄する住まいセンター等へお問い合わせください。

- コンセントが破損している。
- コンセントが過熱により変色している。
- 古い形式のコンセント(差込口の形状が写真AまたはBと同一のもの)

古い形式のコンセント【取替対象】



写真A



写真B

◎お住まいの団地を管轄する住まいセンター等の情報はこちらからご確認いただけます。

～住宅内設備等が故障等により使用できなくなったときは、速やかにご連絡をお願いします～

URお問合せ先一覧

検索



新型コロナウイルス感染症に便乗した悪徳商法にご注意ください